

かみねっちょ新聞

令和5年10月号

～かみね動物園の ZooZooZoo～

よる寝る動物



【リスザル】
昼も時々ひなたぼっこしながらお昼寝していることもあるよ！



【カピバラ】
水の中うんちをするどうぶつ。毛は結構かため。

【ツキノワグマ】
いつも不思議な体勢で寝ている。何かを枕にしていることが多い。

【アジアゾウ】
寝るときは横になって寝たり、立ったまま寝たり。個体にもよるらしい…



ひる寝る動物



【アナグマ】
かみねのアナグマは昼でも活動的…？



【ジャガー】
ヒョウと間違われやすいけど、模様が違うよ。小麦は飼育員を見るとよく追いかけてくる。



【アライグマ】
夜は特にタヌキと間違われるよ…アライグマは手がとても器用！

夜行性の動物と昼行性の動物では活動する時間が異なります。

野生では天敵に見つからないように隠れて寝ていたり、すぐ起きられるように眠りが浅かったり、体力を温存するためあまり動かずほぼ一日寝ている動物もいます。おなかを見せていたり伸びて寝ていたりする姿は安心している証拠です。どの生き物にも睡眠は欠かせません。

私たちもたまにはお昼寝してみるのもいいかもしれませんね！

担当：濱田

年を取るということ

年々暑くなる印象がある、9月の敬老の日も無事すぎました。人間も動物も一日一日「老」に近づいていきます。

昨今の高齢者・年配者はアクティブに活動していますね。年齢を聞くとびっくりするくらい容姿とのギャップを感じませんか？

人間は「健康を維持したい」「若く見られたい」という欲求があるためと思いますが、実は動物にも「若く見せたい」願望があるのです。

正確に言うと「若く見せる」のではなく、年を取って動きが鈍くなっていることを悟られないよう、何事もないように振る舞う行動をします。自分が弱っている、動きが鈍いことがバレてしまうと捕食の対象、すなわち「死」を意味します。

野生動物は寿命の半分くらいしか生きられないとも言われています。動きが緩慢になる、餌が取れなくなる、病気や怪我などで「命を全うできる期間」が寿命より短くなってしまいます。

寿命を超えて長生きすることも多い飼育動物ですが、彼らも弱いところを隠しながら生活します。日頃の観察から動物の状態を把握するのも飼育員の仕事です。

人も動物も、無理せず健康に過ごしたいですね。

飼育員 タカハラ



11月の予定

- 11日(土) エスパニョールだZOO
- 18日(土)~26(日) 年賀状をかこう!
- 18日(土) ポニーのひき馬体験
- 26日(日) 絵本だZOO



詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください
または 0294(22)5586 まで



YouTube

SNSでも写真や動画、最新の情報をお知らせ中!



Twitter



Facebook

10月1日 アジアゾウ ミネコ 祝☆42歳 お誕生日おめでとう!



アジアゾウのミネコが10月1日にお誕生日を迎えました。ゾウの寿命は約60年。42歳はゾウの世界では高齢に入ってきたところです。ミネコも昔に比べると動きがゆっくりになってきたり、時折関節が痛んだりする様子が見られてきました。毎日の健康チェックに加え時々お薬などの緩和ケアをおこなうこともあります。そんなミネコですが、昔と変わらずスズコと仲良くコミュニケーションをとっている姿もよく見られます。加齢による体の変化もありますが、ミネコのペースで今後もゆったり過ごしてもらえるように職員も頑張ります! 皆さんもぜひ会いに来てください🐘

